

人生100年時代シニア活躍推進事業 について

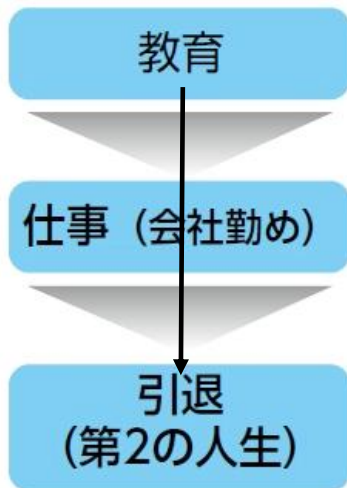
健康増進課

ライフステージの変化

- 人生100年時代の到来によるライフスタイルの変化
- 単線型から複線型の人生へ

【これまでのライフスタイル】 → 【これからのライフスタイル】

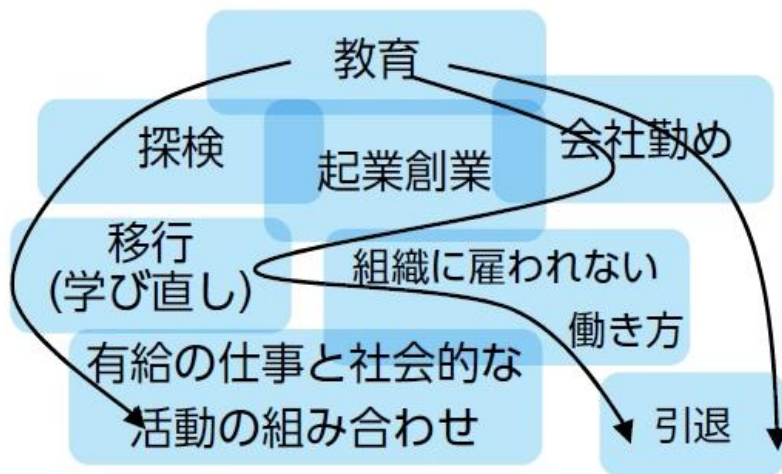
◆1シナリオ&3ステージの人生



日本的企業文化
終身雇用
年功序列
会社中心社会
男性中心社会
大企業志向
安定志向



◆マルチシナリオ&マルチステージの人生

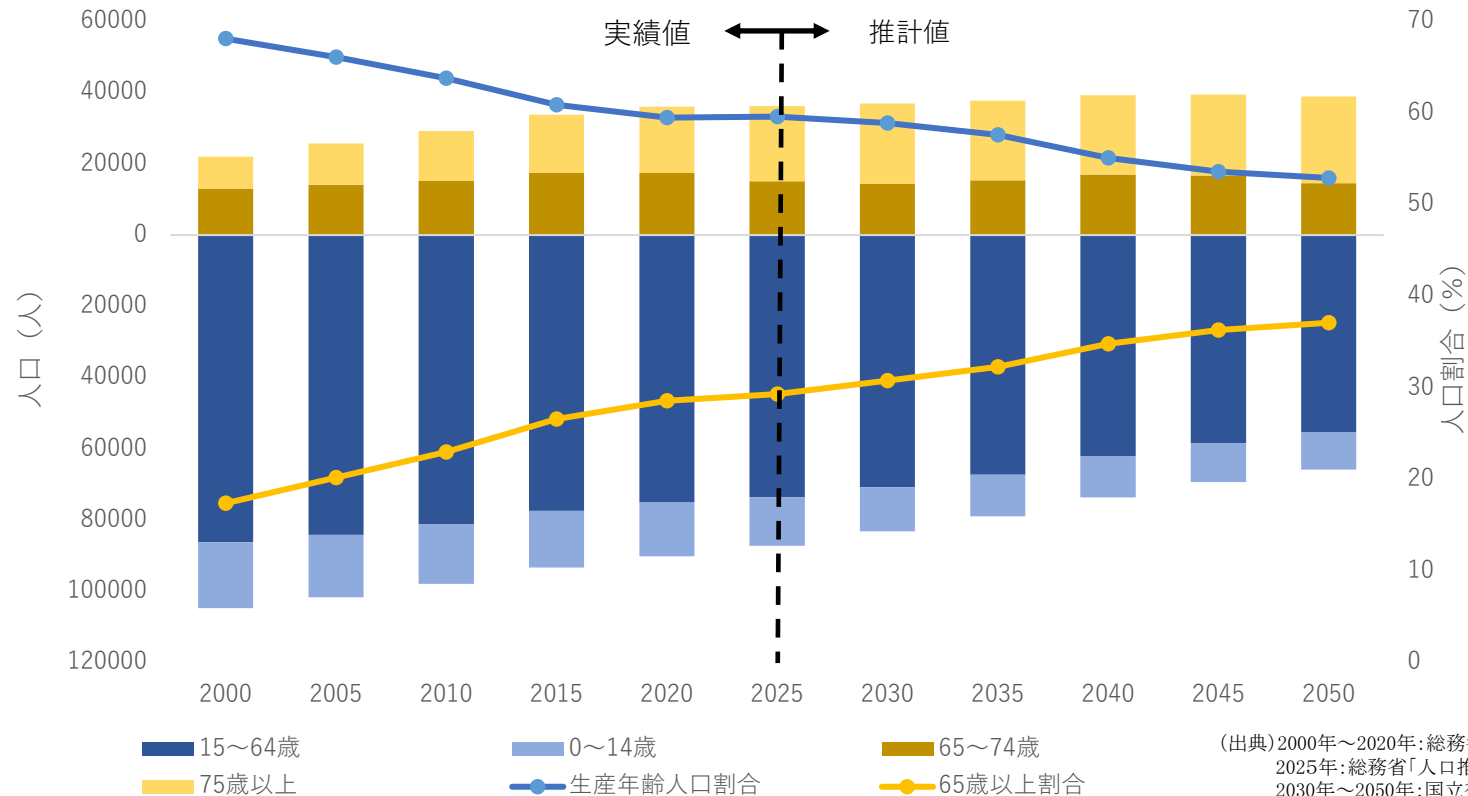


働き方改革
社会・家庭とのバ
ランス
ソーシャル・ビジ
ネス (社会貢献と
仕事の融合)
人間性の回復

1 日本の人口推移と将来推計

- 総人口が減少する中で65歳以上の高齢者が増加することにより高齢化率は上昇を続け、2037年に3人に1人が高齢者となると推計されている。
2043年以降は高齢者人口増加は落ち着いても高齢化率は上昇を続け、2070年には約2.6人に1人が高齢者となる社会が到来すると見込まれている。

日本の人口推移と将来推計

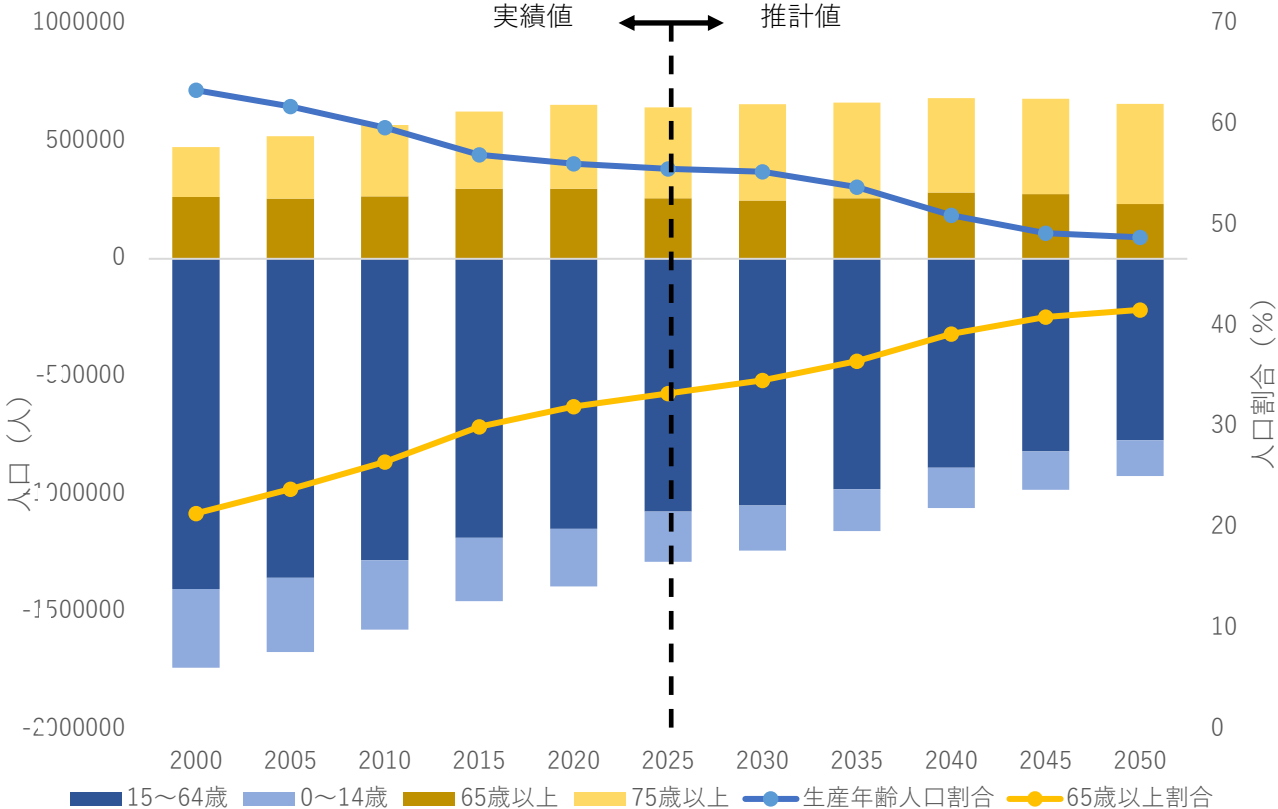


(出典) 2000年~2020年: 総務省「国勢調査」
 2025年: 総務省「人口推計」
 2030年~2050年: 国立社会保障人口問題研究所
 「日本の将来推計人口(令和5年推計)」

2 長野県の人口推移と将来推計

○ 県内総人口が減少する中で、65歳以上の高齢化率は増加が続いている。
2024年は約3人に1人が高齢者であるが、2050年には約2.4人に1人が高齢者となると推計されている。

長野県の人口推移と将来推計



長野県の高齢化率の推移		
年	高齢化率 (%)	都道府県順位
2024年	32.9	20位
2050年 (推計)	41.6	16位

内閣府「令和7年度版高齢者白書(全体版)地域別に見た高齢化」

(出典)2000年～2020年:総務省「国勢調査」
 2025年:毎月人口異動調査
 2030年～2045年:国立社会保障人口問題研究所
 「日本の地域別将来推計人口(R5推計)」

3 健康寿命

○ 長野県は健康寿命が男女ともに全国第1位（2年連続）

健康寿命上位3都道府県（日常生活動作が自立している期間の平均）

(歳)

順位	令和4年			
	男性		女性	
	全国平均	79.7	全国平均	84.0
1	長野県	81.0	長野県	84.9
2	滋賀県	80.8	滋賀県	84.7
3	奈良県	80.4	島根県	84.7

(歳)

順位	令和5年			
	男性		女性	
	全国平均	79.7	全国平均	84.0
1	長野県	81.2	長野県	84.9
2	滋賀県	80.9	滋賀県	84.7
2	奈良県	80.9	島根県	84.7

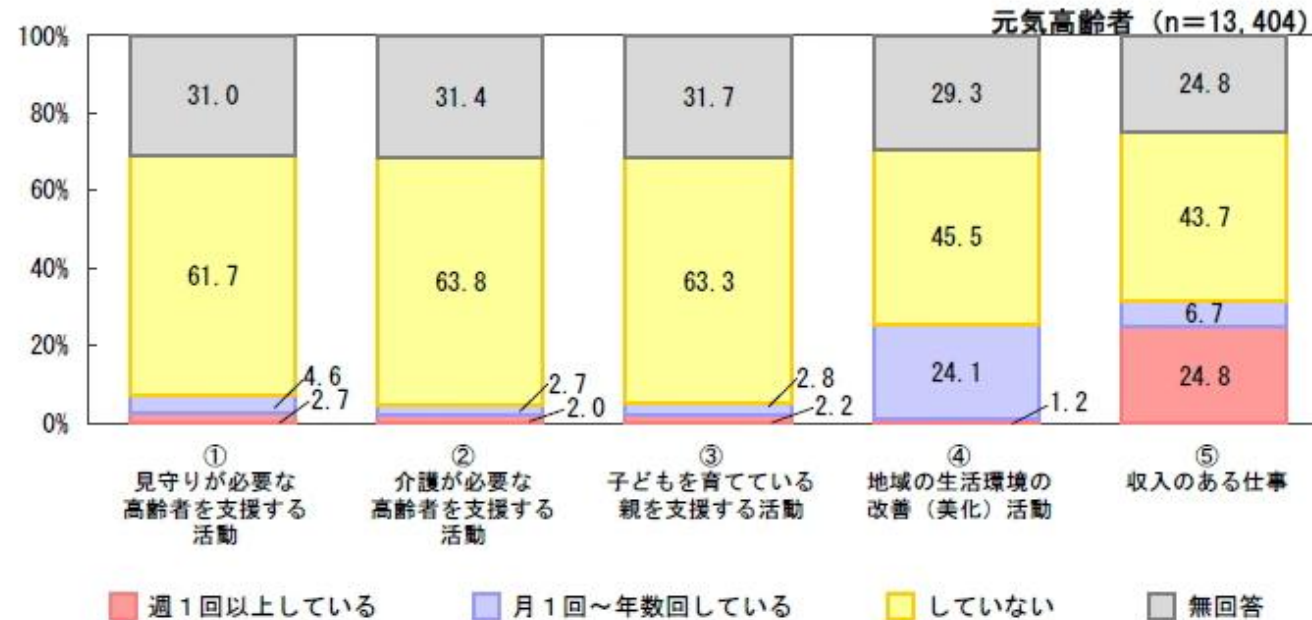
【算出方法】介護保険の要介護度2未満を健康な状態として、算出。

【出典】R4、R5 調査公益財団法人国民健康保険中央会「平均自立期間」

4 高齢者の社会参加活動や仕事への参加頻度

- 要支援・要介護認定を受けていない高齢者（元気高齢者）のうち、社会参加活動や仕事においてすべての活動で、「していない」と回答した者の割合が4割以上を占めている

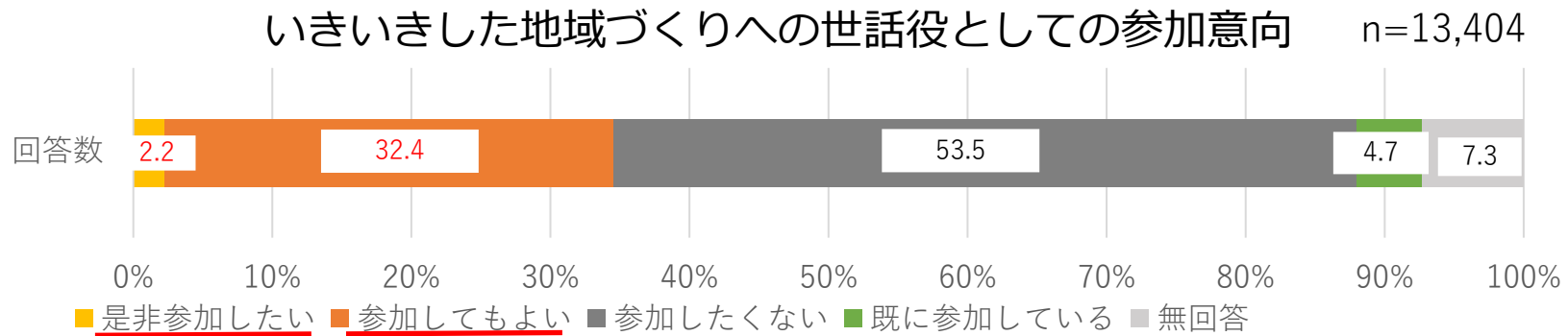
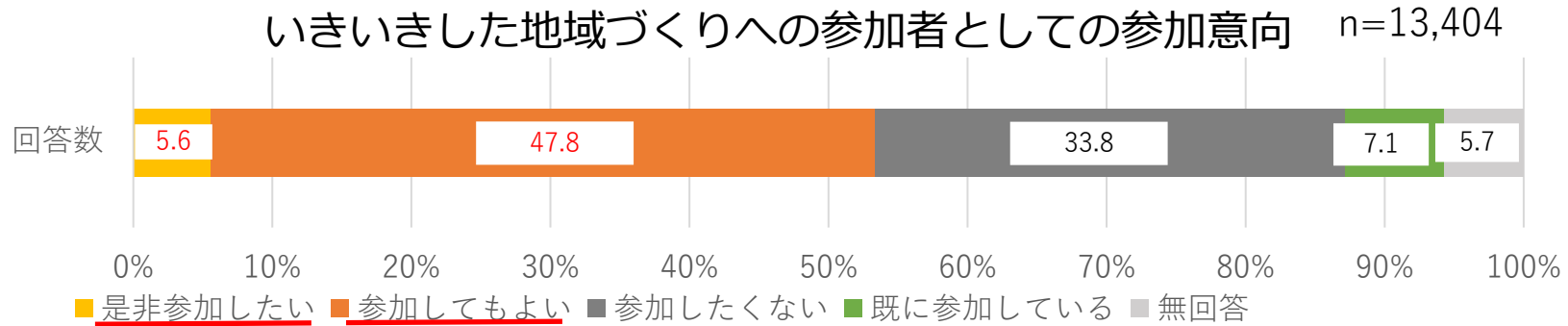
社会参加活動や仕事への参加頻度



【出典】長野県「令和4年度 高齢者生活・介護に関する実態調査（元気高齢者等実態調査）」

5 高齢者の地域づくり活動への参加意向

- 元気高齢者のうち、地域づくりに参加者としての参加意向がある者は半数以上
- 元気高齢者のうち、地域づくりに企画・運営（世話役）として参加意向がある者は半数未満



【出典】長野県「令和4年度 高齢者生活・介護に関する実態調査（元気高齢者等実態調査）」

6 総合5か年計画における本事業の位置づけ

- 令和5年度から総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン3.0」がスタート
- 政策の5つの柱の一つ「誰にでも居場所と出番がある社会をつくる」の施策例に「高齢者の活躍の支援」が明記されている

現状と課題

(長野県を取り巻く状況)

- ・ 少子化と人口減少の急速な進行
- ・ 社会に存在する様々な格差等
- ・ 東京一極集中から地方分散への動き
- ・ ライフスタイルや価値観の多様化

計画体系

長野県を取り巻く状況を踏まえ
政策構築・推進に当たっての共通視点

- ・ 少子化を食い止め人口減少に対応する
- ・ 社会的公正や多様性、包摂性を追求する

基本目標

確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る

政策の柱

- 1 持続可能で安心した暮らしを守る
- 2 創造的で強靱な産業を育てる
- 3 快適でゆとりある暮らしを創造
- 4 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる
- 5 誰もが主体的に学び続けられる社会をつくる

めざす姿（抜粋）

・ 年齢、性別、国籍、障害の有無にかかわらず、誰もが個性や能力を発揮し活躍するとともに、他者を認め、思いやり、共に支え合う共生社会が実現

施策の例

高齢者の活躍の支援

等

7 人生100年時代シニア活躍推進事業

○人生100年時代の到来を見据え、シニア世代が、培ってきた豊富な知識と経験を社会参加や仕事などの様々なステージで生かし、生涯を通じて生きがいを持って活躍できる社会の実現を目指し、シニアの多様な活躍を推進

人生100年時代シニア活躍推進県民会議の開催

- ・関係団体（16団体：商工会、シルバー人材センター、社協、JA、観光機構等）
- ・シニア活動推進コーディネーター
- ・県関係課 → 庁内連絡会議

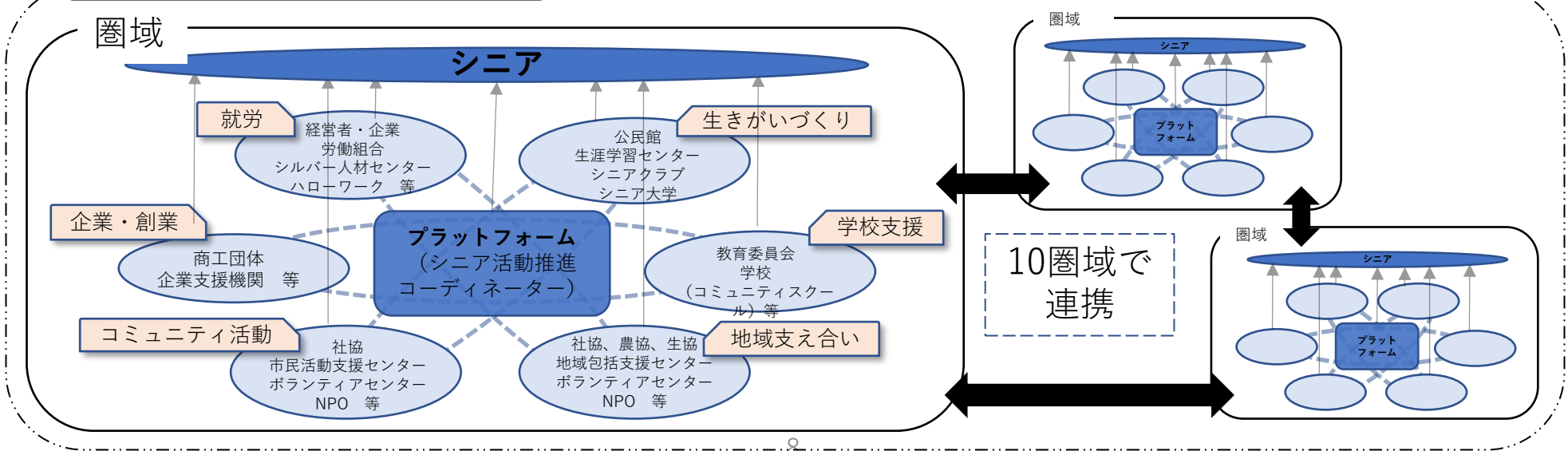
★具体的な取組内容

- ネットワーク会議の開催（広域的かつ多様な主体との連携）
- 地域の課題に応じる相談窓口機能（相談者と協力者のマッチング）
- 地域で活躍できる人材の育成（長野県シニア大学の開講）
- シニアの活躍の場の提供・社会参加活動の普及啓発
 - ・タウンミーティングの開催
 - ・信州型コミュニティスクールの支援
 - ・生きがい就労の促進
 - ・地域の居場所づくりの支援
 - ・企業や公民館を活用した現役世代への啓発

等

解決策の検討・県施策へ反映 ↓ ↑ 各圏域の活動事例・課題の共有

シニアが地域で活躍できる仕組みづくり



8 近年の県民会議振り返り

OR5：30年後の将来について想像し、ありたい個人や地域、社会の姿について考えるワークショップを実施

OR6：「共生社会」をテーマにしてトークセッションやワークショップを実施

Aグループ



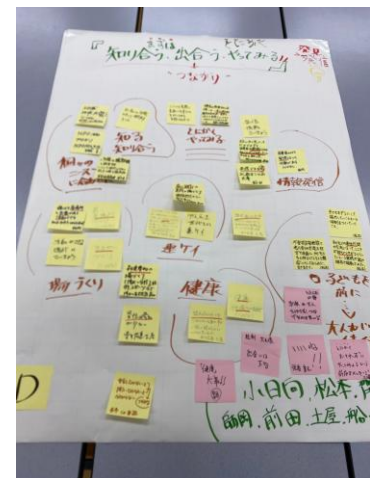
Bグループ



Cグループ



Dグループ



Eグループ



会議の様子

